

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : saurjo-beisuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

坊さんで何したらいいの？なんて具合で漠然とした思いで短大に入り、何となく卒業し流れにまかせて自坊に戻った。結果は何となくお参りいくだけだった。

しかし、数年前から三條別院(三條真宗学院)で改めて勉強する機会をいただいてから、頻繁な別院通いが始まった。この頃から教区の様々な行事に顔を出すようになり、私の中で今まで「なんとなく」だったことが少しずつ色づいてきた気がする。別院報恩講を通じて掛役、雅楽など様々なことを、自坊にいただけでは学べなかつたことに触れる機会、それに伴いご縁をいただいた先生方や先輩方との出遇い。別院を通して様々なご縁が凝縮と拡張をくりかえしているのを実感する。その中に身をおけるといふのは本当にうれしいことである。



【掛役で蝋燭の立て替え】

また、夏になれば教区のキャンプや寺院ごとの子ども会など、報恩講とは違った形で教区にかかわることが出来る。自分だけではできないことも経験させてもらえるのも別院ならではの参り。

今後とも別院を通して様々なご縁をいただき、私自身の成長につなげていければと思つとも、今まで以上にに出遇いの場となる別院を盛り上げる手伝いをしていければと思つ。

渡邊 量氏(第二十三組光圓寺)

▲渡邊さんは、教区児童教化研修会部門幹事で、お取り越し報恩講の掛役や楽人としてご協力いただいています。春彼岸会でも、二十二日に法話をお願いします！(下記参照)



【雅楽ライブ(上)、子ども奉仕団(下)】

○次回の「三條別院に想う」は、

山田一良氏(第十五組淨福寺門徒、花講会長)より

執筆いただきます。

春彼岸会のご案内

春彼岸会を左記の通り厳修いたします。有縁の方々をお誘いあわせの上、是非ご参詣ください。

◇期 日 三月二十二日(木)～二十四日(土)

◇日程および法話講師

二十二日(木)

午後二時三十分より速夜法要

法話 渡邊 量氏(第二十三組 光圓寺)

二十三日(金) 午前十時より永代経総経

法話 瓜生 崇氏(京都教区玄照寺)

おとぎ(正午)

午後二時三十分より速夜法要

法話 ひき続き 瓜生 崇氏

二十四日(土) 午前十時より日中法要

法話 瓜生 崇氏

▲二十三日から二十四日まで瓜生 崇氏に「迷いに還る」という講題でお話しいただきます(全三座)。

▲二十三日正午に、お齋を真加金三千元にて、「用意いたします。ご希望の方は三月十九日(月)までに」ご連絡ください。今回のお齋は、三條スパイス研究所と協力して開発した「精進カレー」です！(最終員参照)

▲春彼岸に先立ち、三月十一日(日)午後二時四十六分(東日本大震災発生時刻)に勿忘(わすれな)の鐘を撞きます。

三条別院公開講座のご案内

「地域に開かれた別院」を願いとし、本年も下記の通り、公開講座を開催いたします。今年、あのカンジヤマ・マイムがやってきます！

- ◆五月十九日(土) 三条別院本堂 午後二時～
- ◆講師 藤倉健雄氏(カンジヤマ・マイム代表 教育演劇学博士。アメリカ仕込みの本格派マイム。現在のテーマは笑いと教育の融合。英語教育などに身体芸を応用したユニークなアプローチを開発している。NHKテレビ「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パントー」のマイム振付、指導として参加。現在全国で放送中。悩みがあるとインドへ行くというほど仏教にも造詣の深い藤倉氏にパントマイム・身体・教育・仏教について語っていただきます。どうぞお楽しみに！



宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

- ◆日時 三月二十八日(水) 午前十時より
- ◆会場 三条別院 本堂
- ◆お勤め(御命日) 日中法要
- 文類偈 行四句目下
- 念仏讃 洵五
- 和讃 回口 次第六首
- 回向 願以此功德

◎今月の法話講師

小林智光氏(第十二組浄照寺)
『歎異抄』に聞く 第六章



▲『歎異抄』に聞くをテーマに、各講師一章ずつ担当してお話しいただいています。

- ◆今後の講師一覧 『歎異抄』に聞く
- 四月 濱松智弘氏(佐渡組勝廣寺) 【第七章】
- 五月 村手淳史氏(第二十組光圓寺) 【第八章】
- 六月 大久保州氏(佐渡組廣永寺) 【第九章】

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

- ◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
- ◆午後一時二十分より(二時間程度)
- ◆場所 三条別院 旧御堂
- ◆講師
- 二月～四月 関根正隆氏(第二十二組長徳寺)
- ◆講題 「変わることに、変わらないこと」
- ▲三百年ぶりに故郷新発田へ泉岳寺から分骨された堀部安兵衛についてもお話しいただきます。



五月～七月 永寶 卓氏(第十組浄敬寺)

▲永寶氏は出雲崎良寛記念館で館長代理を勤められています。念仏も熱心に称えたといわれる、越後を代表する僧侶の良寛。「良寛と浄土真宗」についてお話しいただきます。

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時〜八時〕

二月二十一日(水)〔済〕、三月二十日(火)

四月十八日(水)、五月十六日(水)、六月十三日(水)

講習内容 真宗大谷派勤行集(赤本)

講師 中富正純氏(第二十三組福照寺)

参加費 五〇〇円/回

○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○庭講「毎月十三日」

一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○三条別院有志の会

月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの

懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、聞法会を開催
しませんか？輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。



◆◆編集後記◆◆

二月は、大雪で三条別院・教務所では二週間ぐ
らい除雪作業が続きました。教区の皆様の所では
どうでしたでしょうか。

私事ですが、この二月に今まで延ばしていた住
職修習に行くことになりました。昨年八月末に
住職であった父が亡くなりました。責任役員の方
や総代の方から承認を頂いて住職に成ることに
決まりました。

最近、反省していることがあります。父の葬儀
を全力で儀式を勤めたけれども、本当にあれで良
かったのかということ。父の為と言って私を
飾りたかっただけではなかったのかなと想い返
すことがあります。組内寺院の若手や高田教区の
仏青が駆けつけて、お手伝いしてもらいました。
ずっと気を張っていた中で、三条別院の輪番、齋
木さん、松浦(寿)さん、森尻さん、有坂さん、
退職された松浦(武)さん、長谷部さん、有志の
会から米山さん、山田さん、教務所から菅谷さん
がお通夜と葬儀に分かれて来てくれた時が一番
落ち着けた時でした。人生の中で葬儀を執行して
もらう側になり、改めて葬儀の重たさに気付かさ
れました。

今後は別院、自坊でより一層励んでいきたいと
思います。

(藤井)

【告知】別院春彼岸新名物精進力しー開発中！

【釈迦礼弁当 sharyu lunch box (仮)】

三条スライス研究所と協力して開発した精進力しーを、三月
二十三日、お蔭加金一、〇〇〇円にて用意します！詳
しくはホームページまたはチラシをご覧ください！



三条教区通信

第127号

発行日 2018年3月1日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

ほんがん
本願をききて
うたが
疑うころなきを
もん
聞というなり

『一念多念文意』親鸞聖人

“Hearing” is to listen to the Primal Vow and so be free of doubt.

Notes on Once-Calling and Many-Calling, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

お見舞い

今冬の大雪・暴風のお見舞いを申し上げます。
被害状況を把握いたしたく存じますので、寺院・教会・御門徒様の被害等がございましたら、各組長様までご報告くださいますようお願いいたします。

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

主に春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2017年度においてご協力いただいた金額は203,860円となりました。御礼を申し上げ、今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

今春も4月1日～3日に春の保養事業を実施します。

また、昨年8月の夏の保養事業の様子を別紙にて写真を交えて報告いたしますので、是非ともご一読ください。

東日本大震災及び熊本地震については、宗派の救援金口座も引き続き設けられておりますので、教区と同様に何卒ご協力の程、お願い申し上げます。

宗派 東日本大震災救援金口座

【郵便振替口座番号】01030-4-2244

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部(救援金)

宗派 熊本地震救援金口座

【郵便振替口座番号】01010-0-2608

【加入者名】真宗大谷派宗務所財務部

研修会のご案内

- 教学研究会 案内既送
 - ◆日時 2018年3月5日(月)～6日(火)
 - ◆場所 教区同朋会館
 - ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
 - ◆内容 『教行信証』化身土巻
 - ◆参加費 500円
 - ◆対象 どなたでも(申し込み不要)
 - ◆受講証 第2種発行(教師陞補のために1枚必要なもの)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)
- 同朋の会教導連絡協議会・研修会(聴講受入) 既送
 - ◆日時 2018年3月9日(金)14:00～16:30頃
 - ◆場所 教区同朋会館
 - ◆講師 渡邊晃純氏(岡崎教区守綱寺)
 - ◆対象 同朋の会教導、聴講はどなたでも
 - ◆備考 講義・質疑の時間、聴講可(申込不要)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)
- 推進員・育成員共学研修会(新潟市) 案内既送
 - ◆日時 2018年3月12日(月)13:30～17:00
 - ◆場所 金寶寺(新潟市中央区)
 - ◆講師 本多雅人氏(東京教区東京2組蓮光寺)
 - ◆対象 推進員・育成員の方
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)
- 「靖国問題」基礎講座 案内既送
 - ◆日時 2018年3月16日(金)14:00
 - ◆会場 教区同朋会館
 - ◆講師 工藤和雄氏(弁護士)
宮本亮二氏(高田教区榮恩寺)
 - ◆テーマ 信心の課題として改憲問題を考える
 - ◆参加費 500円
 - ◆対象 どなたでも(申し込み不要)
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:高田)
- 推進員・育成員共学研修会(佐渡市)
 - ◆日時 2018年3月25日(日)13:00～26日(月)10:30頃
 - ◆場所 ホテルニュー桂
 - ◆講師 渡邊学氏(第23組明正寺)
 - ◆対象 佐渡組推進員一泊研修会として開催されるため、佐渡組外の方で参加を希望される方は聴講参加となります。
 - ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)
- 声明基本講習会 案内既送
 - ◆日時 2018年3月27日(火)9:30～

- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆講 師 声明講習会部門スタッフ
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 500 円
- ◆申込み 3月9日まで申込用紙またはお電話で
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 教区女性研修会

案内同封

- ◆日 時 2018年3月29日(木)9:30～
- ◆場 所 三条別院
- ◆講 師 三明智彰氏(九州大谷短期大学学長)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～
- ◆講 題 「生まれた意義と喜び―出世本懐―」
- ◆対 象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食代を含む)
- ◆申込み 3月23日まで
お寺または女性研修会部門スタッフへ。もしくは教務所へ。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 春季声明講習会

案内同封

- ◆日 時 2018年4月26日(木)10:00～
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆講 師 泉 康夫氏(本山堂衆)
- ◆対 象 僧侶
- ◆参加費 500 円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 新任教師研修会

案内後送

- ◆日 時 2018年5月10日(木)～11日(金)
- ◆会 場 教区同朋会館
- ◆講 師 狐野秀存氏(大谷専修学院院长)
- ◆対 象 大谷派教師資格取得後5年以内の方または寺院に戻って5年以内の方、その他、受講を希望される大谷派教師の方
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 「是旃陀羅」問題に関する三条教区学習会

後送

- ◆日 時 2018年5月18日(金) 午後(予定)
- ◆場 所 三条別院
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 真宗教団連合新潟県支部 公開講演会

案内既送

- ◆日 時 2018年3月7日(水)14:00～
- ◆会 場 浄土真宗本願寺派新潟別院
- ◆講 師 安藤けい一氏(浄土真宗本願寺派僧侶)
- ◆演 題 野洲花見ヶ岡大蛇経鱗(約90分)
親鸞聖人に関連する説話をひとり人形芝居により解り易く演じます。
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 三条教務所へお電話・FAX・Email等にて。キャンセルの連絡は不要です。

教務所からのお知らせ

◎法務お手伝いの募集について

新潟市中心部の御寺院で法務お手伝いのできる方を探しています。ご希望の方は教務所(TEL 0256-33-2805 担当結城)までご連絡ください。

◎日本年金機構による宗教法人への厚生年金加入促

進について【続報】

昨今の日本年金機構による宗教法人に対する厚生年金加入促進の動きについては、宗教法人への適用について制度内容に少なからず問題があるとして公益財団法人 全日本仏教会から日本年金機構に対して申し入れが行われ、2015年7月6日付で日本年金機構中央本部から各地の年金事務所に対して加入促進一時停止の指示が出されておりました。

しかしながら、先般から教区内寺院よりお問合せ・ご相談が寄せられておりましたとおり、一部地域で加入促進の動きが続いていました。

この問題について、このほど厚生労働省と日本宗教連盟との間で協議が始められたとのことです。

また、厚生労働省年金局より日本年金機構に対して宗教法人の理解を得られる新たな方策ができるまで現在の加入促進のやり方を一旦保留するよう指示が出されたとのことです。本件に関する続報としてお知らせいたします。

参考記事:『文化時報』(2018年2月21日付)

◎教区行事予定表 2018年

3/2(金)	14:00	社会広報部会 夏の集い執行部会議
3/3(土)	13:30	真宗学院特別講義3
3/5(月)	13:30	～6日(火)教学研究会
3/7(水)	14:00	「靖国問題」研修会部門会議
3/8(木)	14:00	「差別と真宗」共学研修会部門会議 教化センター
3/9(金)	13:00	同朋の会教導連絡協議会・研修会
3/10(土)	13:00	真宗学院同窓会
3/12(月)	14:00 15:00	推進員・育成員共学研修会(新潟) 声明講習会部門会議
3/15(木)	14:00	教化センター
3/16(金)	14:00	靖国問題基礎講座
3/18(日)	9:30	首都圏在住新潟県ご門徒お彼岸のつどい(練馬真宗会館)
3/19(月)	14:00	「是旃陀羅」教区学習会会議
3/20(水)	14:00	企画委員会
3/22(木)	14:00	研修部会
3/25(日)	13:30	～26日(月)11:00 推進員・育成員研修会(佐渡組)
3/27(火)	9:30	声明基本講習会
3/29(木)	9:30	教区女性研修会
3/30(金)	14:00	連絡協議部会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

◎着任のご挨拶

教区雇員 高田直来

この度、本年一月より教区雇員駐在教導として着任いたしました高田直来と申します。

これまでは自坊の新潟市内のお寺で法務を勤めておりましたが、前任の藤波法英氏の退任に伴い当職に就かせていただくこととなりました。

駐在教導としてその務めを果たすのはもちろんですが、

教区役員という立場を忘れず地元の声をしっかりと受け止めて職に当たらせていただく所存です。

未熟者ではありますが一生懸命努めさせていただきます。何卒よろしくお願いたします。

駐在教導のつぶやき

西山郷光

わたくし西山、先日、滑ってこけました▼せっかくわが身の事実を教えてもらった出来事でしたので、つぶやかさせていただきます▼話すときながいことながら、聞けば短い、かもしれない。そんなお話です。ペこり▼1月12日(金)は、今年最初の大雪の日でありました。我々西山一家4人は、土日を利用して、雪を避けるべく晴天の関東に繰り出しました。土日の関東は晴天でした。リフレッシュして戻った1月14日(日)20時45分。役宅に家族を降ろし、駐車場に自家用車を駐車した後、凍った地面で滑ってころんで後頭部を強打したそうです▼そうです、と又聞き表現になっている理由は、覚えていないからです▼ころんで数分後、たまたま通りかかった2名のおじさまが倒れたわたくしを発見してくださり、声をかけてくれて、どうもわたくしは家の住所を言えたらしく、すぐそこということもあって肩に担いで連れて行ってくださったそうです▼わたくしの様子から「酔っぱらって倒れた」と思ったそうですが、奥さんから経緯を聞くと「すぐに救急車を呼んだ方がいい」とアドバイスをくださり、また転んだ拍子に飛んで行ったわたくしの眼鏡まで探してくださり(転んだ場所の周辺にあったそうです。そういえば覚えのない擦り傷が少々…)、名を告げず去って行かれたそうです。おじさま方には、この場を借りて御礼申し上げます。命の恩人でありました。ありがとうございました▼さて、その後救急車が来て、心電図計ったり簡単な質問とかがあったそうです▼このときのわたくしは、土日に家族で遊んだ記憶はほとんど無く、教務所の仲間と現在勤務しているのが誰かもはっきりわからない。子ども二人の名前は言えたのですが、奥さんに関しては、名前はわかったけれど結婚しているかは曖昧という、惨憺たる状態だったそうです(この時、長男は土日に遊んだ内容を一生懸命僕に教えてくれていたのですが、ほとんどわからない僕の様子は「震えるほど怖かった」そうです。ごめんね)▼その後近くの病院に搬送され、バランス感覚等の確認やMRIで頭蓋骨内の出血などを調べ、とりあえず問題ないと無事帰宅。12時過ぎに一応皆で寝たようです▼ここまで全く記憶がありません▼倒れた後の一番古い記憶は、深夜3時くらいに当該の病院の診察券を手に、寝ている奥さんに「僕はここに行ったんだよね?」と確認している記憶です。おそらくその直前に奥さんから、もはや何度目かもわからない説明を受けていたのですが、その記憶はありません▼そのあとも、記憶が曖昧な時間は続きました。月曜日夜の時点では、30分前くらいの記憶が本当にあったことなのかわかりませんでした▼記憶がまるでふわふわしていて、夢を見た出来事なのか現実なのかを判断することができない。何度も奥さんに「これってあったよね?」と聞いていました▼この状態が続くなら、もう仕事は出来ないな、とか思いました▼まあいろいろごちゃごちゃ述べましたが、結果的には単なる脳震盪でした▼記憶障害の時間こそ長かったのですが、

倒れ方が良かったのか出血もなく、なぜかたんこぶもなく、大事に至らず済みました▼さてさて、そんなことがあったのでした。いやはや、人生いろいろなことがありますね▼さて、ここまで状況説明でした。長くてすみません。こけたことから教わったわが身の事実は、次のようなことです▼僕は、過去の出来事がある、今の自分はそれをちゃんと覚えていて、というか今の自分と時間軸がつながって認識されていて、過去と現在の自分が同一の自分であることを前提に、自分というものがここにあると思いついていました。でも、それが意外と簡単に崩れるということを教わりました▼今、何かを判断して行動している自分ですが、数十分後にはそのこと自体思い出せなくなってしまって、「自分が連続している」という認識自体が観念に過ぎない。本当ではないものを本当だと思いついて「疑」といういつわらざる自分のあり方を教わりました▼有難いことでした▼あともう一つ、よかったなあと思ったことがあります▼月曜の朝、自分の状態がわかって、「これから先起こることはすべて記憶に残らないかもしれない」と思ったのですが、これまでの人生で自分なりに「念仏は大切」と思っていることはその時点でも思い出せたので、これが思い出せるなら今後の人生何とかなるかなと思ったのでした▼その程度には念仏に出会っていたことに安心したのでした▼雪国(能登)の人間のくせこけたのが悔しいからせめて前向きにとらえよう、ということではないですよ。違いますよ、全然▼そんなこともあるんです。受け入れるしかないんです。こけたんだもん。仕方ない。悔しくない▼でもそんな自分にも出会えたならば、例え自分では受け入れがたくとも、それは阿弥陀の本願を受けたわが身なのでしょうね。そんな出遇いをいただきました▼南無阿弥陀仏

新潟親鸞学会からのお知らせ

■大会記念講演(一般)

第14回(新発田)大会の記念講演に中島岳志(なかじまたけし)先生をお迎えします。先生は若き論客としてマスコミにしばしば登場しますが、大谷派教学員として教団に対しても積極的に発言されています。『親鸞と日本主義』(新潮選書¥1,400-)もホットな論議となっています。

ぜひこの機会にご聴講ください。

日時 2018年6月12日(火)

会場 長徳寺

新発田市大栄町二丁目7-22 Tel 0254-22-6226

講題 「未定」

講師 中島岳志先生

(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

■特別講座

日時 2018年3月9日(金)

会場 勝念寺(新潟市西堀通7番町)

講師 太田浩史師(大谷派大福寺住職)

テーマ 「越後の信心の歴史について—三業惑乱と新潟法中出入事件について—」

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内

〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町783

Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com